

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
6.0a	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録を実行した場合、「デプロイメントサーバとの接続に失敗しました」と表示され、登録に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.6.0	以下のサービスを再起動することで、現象を回避することが可能です。  “Deployment Service”  コントロールパネル>管理ツール>サービスを起動し、上記サービスの再起動を行ってください。	
	システムリカバリ機能	Windows2000のOSにて瞬快管理機能を起動させようとする時「指定されたモジュールが見つかりません」というメッセージが表示されて、起動に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.6.0	回避モジュールをご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録中に、システムリカバリサーバのDeployment Serviceがアプリケーションエラーを起こす場合があります。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.6.0	以下のサービスを再度起動した状態で、管理機能より再度「クライアントPCのリモート登録」を開始することで回避することが可能です。  “Deployment Service”  コントロールパネル>管理ツール>サービスを起動し、上記サービスの再起動を行ってください。	
	セットアップメニュー画面	機能追加。	CD-ROMを挿入した時、製品に関する重要なお知らせがある場合にその内容を表示する機能を追加しました。	ALL Rel6.0	なし	
6.0b	インストーラ共通	制限解除。	以下のOSをサポート対象OSに追加しました。 ・Windows Vista Enterprise ・Windows Vista Ultimate ・Windows Server 2003 SP2	ALL Rel6.0a以前	なし	サポートOSの詳細については必ずソフトウェア説明書をご確認ください。
	クライアント機能	制限解除。	以下のOSで、リモートログオンできない制限を解除しました。 ・Windows Vista HomeBasic ・Windows Vista HomePremium	ALL Rel6.0a以前	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.2(「改変対策を無効」に設定してください) ・F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティ ver 7.0 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.5i	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアントインストーラ	機能追加。	瞬快クライアントをサイレントインストールする時に使用するサイレント定義ファイルを簡単に作成するツールを追加しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	管理機能インストーラ	機能追加。	瞬快管理機能インストール時にマニュアルやソフトウェア説明書をショートカットメニューに登録しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	管理機能	機能追加。	クライアントPCのプロパティで入力できるコメント情報を管理機能のリモート操作タブ画面のクライアントリストに表示できるようにしました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントを修復無効モードに変更した後に動作モードを修復モードに変更すると、修復スケジュールが必ず毎回起動時修復に設定されてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアント機能	瞬快のログオンパネルの設定機能にて、ログオン先のドメイン名を設定した環境において、ログオンパネルでCtrl+Alt+Delキーを押下し、その後ESCキーを押下し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押下すると、ログオン先が「ドメイン」から「ローカル」に変わってしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	ログオンパネルの設定を行う前に、ドメインにログオンしてください。(一度でもドメインにログオンした後はワークグループに戻しても問題ありません。)	
	クライアント機能	Windows Vistaクライアントに対して、ログオンパネル機能で「指定されたユーザ名およびログオン先を表示させる」が設定できない。	ログオン先がドメインの場合には設定できるようにプログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライブ	他社製ソフトウェアとの組み合わせによって、運用中に以下のブルースクリーンが発生する場合があります。 0xC0000218 0x0000007E 0x0000008E また、OSがハングアップまたは突然再起動したり、OS起動時に「前回OSが正常に終了していない」旨のメッセージが表示される場合があります。	現象を回避するログをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0a以前	組み合わせによって問題の発生するソフトウェアを、最新バージョンにアップするもしくはアンインストールを行うことによって回避できる場合があります。	
	瞬間復元ドライブ	Windows Vistaのエクスプローラ上で「圧縮フォルダ(ZIPファイル)」を作成し、そのフォルダにファイルをドロップして圧縮させると、元のZIPファイルが削除され別の名称のZIPファイルが作成される。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ修復モード時に、Internet Explorer7で次のような現象が発生する。  ・入力フォーム部分で日本語変換ができない。 ・印刷ができない。 ・Flashの再生ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	UACを解除してください。	
瞬間復元ドライブ	瞬快がインストールされているとIDE接続のMO装置を認識(ドライブが割り当たらない)しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし		

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダの修復モード時に、ドライブ全体を修復対象外に設定すると、そのドライブで瞬快のワークフォルダが見えてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	Windows Vista環境においてProgramFilesフォルダ配下で変名に失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	瞬間復元ドライブ	エクスプローラで、同一フォルダ内でファイルをコピー(Ctrl+C)し貼付け(Ctrl+V)すると失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	修復モード中に「読み取り専用」属性のファイルの、「読み取り専用」を外し、ファイルを更新した時に、ファイルの更新に失敗する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	クライアントインストーラ	瞬快クライアントのサイレントインストールで、「メール通知」機能を無効にする設定ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録を行った後、電源OFFが失敗する場合がある。	実行する機種によって、ACPIを利用する電源OFF方式が正しく動作しないことがあります。クライアントPC毎に、電源OFF方式を選択できるようにしました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	回避モジュールをご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能での配信後に、クライアントPCで表示される残り時間のダイアログが複数個表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能を利用する際、サービスのコピーを利用して新しいサービスを作成し、そのサービスを実行しようとする時、「パラメータエラーです。」とメッセージが表示されて正しく実行できない場合がある。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	サービスを再作成してください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能を利用して、ディスクイメージの配信を行うと、DNS設定のひとつである、「この接続のアドレスをDNSに登録する」の設定を無効にしても、有効になってしまう。	左記に示すDNS設定を、引継ぐようにプログラムを改修しました。 ※ただし、WindowsXP上でSysprepを利用して展開する場合は、Sysprepにより設定が初期化され、引き継ぐことができません。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	イメージ配信後、各クライアントPCのDNS設定を変更してください。	
	システムリカバリ機能	マルチキャスト配信処理において、一部のパソコンが電源オンされなかった場合、他の正常に電源ONされたパソコンも配信処理が始まらない。	初期設定を変更し、マルチキャスト開始から30分経過後に自動的に配信が開始されるように変更しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	回避方法をご用意しておりますので、弊社までお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	WindowsUpdate連携のイメージ取得オプションを有効にして取得した場合、取得したディスクイメージを配信すると、瞬間復元機能が動作しなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.6.0a以前	なし	
	WindowsUpdate連携	修復無効モードでのパッチのインストール中に強制キャンセルを実行すると、パッチの適用個数が正しく表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	更新モードでパッチを適用してください。	
	リモート画面操作機能	Windows Vista環境でUSBキーボードを利用しているPCに対して、リモート画面操作機能コンソールから「Ctrl+Alt+Del」の遠隔操作ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista環境のクライアントPCに対して、リモート画面操作機能コンソールからショートカット「Windows + L (コンピュータのロック)」が実行できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前 Windows Vistaのみ	なし	
	管理機能	リモートログオン機能において、ワークグループ運用のクライアントPCに対して「ログオン先」に存在しないドメイン名を指定すると、「正常に終了しました」と表示されローカルコンピュータにログオンされてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0a以前	なし	
6.0d	瞬間復元ドライブ	WindowsXPに瞬快クライアントをファイルフォルダ単位修復モードでインストールした環境で次のような現象が発生する場合がある。 ・端末の操作中あるいは放置時にOSがフリーズする。 ・「システムリソースが不足しています」というメッセージが表示され、操作を続行できない。 ・ブルースクリーン (STOPコード 0x000000F4など)になる。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0b以前	Windows XP OS標準のサービスである「Help and Support」を無効にすることで回避可能です。	WindowsVistaおよびWindows2000では、この現象は発生しません。
6.0e	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・Symantec Endpoint Protection11.0 ・F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティ ver 7.1	ALL Rel6.0d以前	なし	Windows Vistaの場合は「変更対策」を無効に設定してください
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ単位の修復モード時に、ドライブのボリュームラベルを変更しようとする時、権限が無い旨のメッセージが表示され変更できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	Xyθος社のXyθοςDriveでマウントしたドライブに対して、Microsoft Wordにて直接文書の保存しようとする時、アクセス権のエラーにより保存ができない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前	XyθοςDriveへ直接保存せず、ローカルのドライブに文書の保存を行った後、XyθοςDriveへのコピーを行ってください。	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライブ	NVIDIA社のnForceのマザーボードを搭載するPCに瞬快をインストールすると、瞬間復元ドライブが動作せず、瞬快のスパナアイコンが赤色で表示される。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0d以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	Apple社のQuickTimeを利用してムービーを再生させると、次回OS起動時に「SCL00045 ディスクに異常があります。」のメッセージが表示される。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0d以前 Windows Vistaのみ	なし	当メッセージが表示される原因は、QuickTimeが不正なエラーメッセージを発行するためです。
	瞬間復元ドライブ	Windowsのフォルダリダイレクト機能により、マイドキュメントフォルダをファイルサーバにリダイレクトさせているPCの環境に、瞬快をファイルフォルダ単位の修復モードで動作させると、以下の現象が発生する場合があります。 ・Microsoft Office 2007からマイドキュメントフォルダに保存できない。 ・マイドキュメントフォルダのファイルをリネーム/削除ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前 Windows Vistaのみ	ファイルサーバ側の設定で、オフラインファイルを無効にしてください。	
	瞬間復元ドライブ	Windows VistaでInternet Explorerを使って、動画を表示するサイトにアクセスした場合に、動画が再生できない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前 Windows Vistaのみ	UACを解除するまたは、Internet Explorerの保護モードを無効にしてください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快が修復モードの状態ではAdobe Photoshop Elementsを起動させようとすると、「アートワークエフェクトを構築しています」と表示され、起動が完了するまでに数分を要する場合があります。	アートワークエフェクトが再構築される現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0d以前	Adobe Photoshop Elementsの起動に数分を要する場合がありますが、起動後は通常通り使用できます。	「アートワークエフェクトを構築しています」のメッセージが表示された場合に、キャンセルボタンを押すとPhotoshop Elementsが使用できません。
	瞬間復元ドライブ	ファイル共有の設定をしたWindows Vistaに瞬快をファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした状態で、別のWindows Vistaマシンから共有フォルダを参照するとSTOPコード 0x0000004Eのブルースクリーンが発生する。 Windows XPやWindows Server2003マシンからWindows Vistaの共有フォルダを参照した場合は、問題は発生しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前 Windows Vistaのみ	なし	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能を使ってクライアントPCをモニタリング中に、キーボードで日本語入力を行うと正しく入力されない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0d以前	クライアントPCのIMEがMicrosoft IME 2000の場合のみに現象が発生することを確認しています。IMEを新しい製品へバージョンアップしてください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリで作成するリソースの名前に全角の以下の文字が含まれると、システムリカバリ管理機能上にそのリソース名が表示されません。 “#”:シャープ “【”:大カッコ(始) “】”:大カッコ(終)	これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0d以前	該当する文字をリソースの名前に使用しないでください。	
	システムリカバリ機能	クライアントからのイメージ取得機能でシステムリカバリユーザを指定する際、ドメインユーザの指定ができない。	“ドメイン名\ユーザ名”のフォーマットで指定できるようにプログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0d以前	なし	
	システムリカバリ機能	netdom.exeを利用したドメイン参加において、ドメイン名、ユーザ名、パスワードに半角の以下の文字を指定すると処理が失敗する。 “&”:アンバサンド “*”:べき乗記号、ハット記号	これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0d以前	該当する文字をドメイン名、ユーザ名、パスワードに使用しないでください。	
	システムリカバリ機能	サービス名に半角スペースを含むサービスをコピーすることができない。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0d以前	サービス名に半角スペースを使用しないでください。	
6.0f	瞬間復元ドライブ	復元タイプをファイルフォルダ単位の設定で瞬快クライアントをインストールすると、Windowsへのログオン直後に黒い画面で処理が止まってしまう現象が、一部の環境においてまれに発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0e以前	なし	
	システムリカバリ機能	「Linux領域を高速モードでイメージ取得する」のオプションをONにして作成したディスクイメージをクライアントPCに配信すると、クライアントPCが起動しない場合があります。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0d以前	「Linux領域を高速モードでイメージ取得する」のオプションOFFにしてイメージ取得を行ってください。	
6.0i	瞬間復元ドライブ	シンボリックリンクとして作成したフォルダにファイルの新規作成や、ファイルのコピーができない。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel6.0f以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	一般ユーザにてログオン時、LhaPlusにて圧縮に失敗し、さらに圧縮元のファイルが消える場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL 一般ユーザにて 使用時 Rel6.0f以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	マウントポイントの作成を行い、マウントされたフォルダを開くと0x7Fのブルースクリーンが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel6.0f以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	NTFS上にマウントポイントが設定されている場合に、ファイルフォルダ単位修復モードに切り替えることができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ単位修復モードにおいて、ソフトオンネットジャパン社Z!Streamを起動しログアウトすると、C:\Program Filesフォルダが消えてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel6.0f以前	なし	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントをインストールすると、パス名の長さが260バイト以上となるファイル・フォルダを使用できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	復元タイプをパーティション単位に設定して運用してください。	
	クライアントインストーラ	クライアントインストーラの変更インストールでリモート画面操作機能のポート番号を変更しても実行後、ポート番号が更新されて	プログラムを改修しました。	All Rel6.0f以前	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントをインストールし、環境設定画面から修復モードに切り替えようとOKボタンを押すと、「環境設定に失敗しました」のメッセージが表示されて、修復モードに出来ない場合がある。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0f以前	なし	
	クライアント機能	WindowsXPクライアントにおいて、Ginaが置き換わっている環境に瞬快をインストールし、修復無効モードにてGinaを置き換えたソフトをアンインストールした後に、瞬快をアンインストールするとOSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	All クライアントOSが WindowsXP/Windows 2000 Rel6.0f以前	GINAを置き換えたソフトをアンインストールする前に瞬快クライアントをアンインストールしてください。	
	クライアント機能	管理機能よりリモートログインを行った後ログオフすると、「他のユーザー」のアイコンが表示される。	プログラムを改修しました。	ALL クライアントOSが WindowsVista Rel6.0f以前	なし	
	クライアント機能	ログオンパネル上にてスクリーンセーバが動作している場合にリモートログインを実行すると、「SKE00809 クライアントPCがリモートログインできる状態ではありません。クライアントPCにてログインを行ってください。」のメッセージが表示され、リモートログインができない。	プログラムを改修しました。	ALL クライアントOSが WindowsVista Rel6.0f以前	スクリーンセーバーを終了させてください。	
	クライアント機能	環境設定画面内の修復対象設定のフォルダツリーで選択したフォルダに対して、エクスプローラ上で削除、名前の変更をすることができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	タスクトレイアイコン (Launcher.exe)を終了させてください。	
	管理機能	更新モードのクライアントへウイルス対策ソフトをインストールし、管理機能のメニューから「修復ポイントの設定」を選択して実行した場合、ウイルスパターンが最新状態が保持されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	管理機能で環境設定画面を開き、「修復ポイントの設定」ラジオボタンを選択してOKボタンを押してください。	
	管理機能	DHCPのリース期間が短い環境に瞬快を導入すると、瞬快管理機能が誤ったクライアントPCから情報を取得し、同じMACアドレスを持つPCが管理機能上に複数存在してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	DHCPのリース期間を長く設定してください。	
	管理機能	ドメインユーザで、パスワードなしのユーザーアカウントで管理機能からリモートログインしようとすると、管理機能側では正常終了するが、クライアント側では「Incorrect password or username」と表示されてログインできない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	ドメインユーザにはパスワードを設定してください。	
	管理機能	管理機能からインポートを行ったCSV内に、マルチブートグループが含まれている場合、次のような現象が発生する。 (1)「マルチブートグループへコピー」を実行すると、すでにコピー済みのクライアントを二重にコピーしてしまう。 (2)プライマリグループ内のクライアントを、移動や削除した場合に、サブグループ内のクライアントが運動せずに残ってしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	なし	
	リモート画面操作機能	Vistaに「リモート画面操作」をインストールすると、ログオフおよびWindows終了時に画面が乱れる場合がある。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 WindowsVista Rel6.0f以前	なし	
	リモート画面操作機能	HP社[Compaq dc7800p Ultra Slim DesktoPC](機種標準のUSBキーボード接続)にリモート画面操作機能をインストールした環境で、一度Windowsからログオフすると、Windowsのログオンパネルの画面でキーボードが利かなくなる。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ 単位修復モード クライアントOSが WindowsVista Rel6.0f以前	PS2キーボードを使用してください。	
	リモート画面操作機能	クライアントへキーマウスのロック指示を出した状態において、ロックされているクライアントPC上でCtrl+Alt+Deleteを押すと、その後ロックを解除してもクライアントPC上でキー入力を受け付けなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0f以前	なし	
	システムリカバリ機能	クライアントPCからのイメージ取得でシステムリカバリサーバに接続するときに表示される、システムリカバリユーザのアカウント名とパスワードを入力する画面のパスワードを入力するテキストボックスに入力可能な最大文字数が短いため、長いパスワードが指定できない。	プログラムを改修しました。(最大入力文字数を127バイトまで拡張)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0f以前	システムリカバリユーザのパスワードの長さを14バイト以内に設定してください。	
	システムリカバリ機能	「WindowsFirewall」サービスを「無効」にした状態でシステムリカバリクライアントのインストールを実施すると、ファイヤーウォールの例外登録に失敗してしまい、ディスクイメージの配信時に以下のメッセージが出てエラーになってしまう。 Update clcomp2.dat Transfer is done successfully 0091 指定されたファイルが存在しません。 終了コード=3	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 クライアントOSが WindowsVista Rel6.0f以前	システムリカバリクライアントインストール前に「WindowsFirewall」サービスを有効に設定してください。	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	瞬快クライアントとシステムリカバリクライアントが共存した環境において、ブルースクリーン(0x93)が発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel6.0f以前	なし	
	WindowsUpdate連携	WSUS3にSP1を適用し、VistaにてWindows連携を実行すると、再起動を繰り返す環境になる場合があります。	プログラムを改修しました。	All クライアントOSが WindowsVista Rel6.0f以前	修復無効モードでWindowsUpdateを開始させてください。	
	WindowsUpdate連携	瞬快サーバをWindowsXP(SP3)/WindowsVista(SP1)上で運用している場合、WindowsUpdate付きイメージ取得でパッチの適用確認機能が動作しない。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 サーバOSが WindowsXP(SP3) または WindowsVista(SP1) Rel6.0f以前	なし	
	その他	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにてクライアントの環境設定画面の内容が出力した定義ファイルに反映されていない。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0f以前	なし	
6.0j	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ 8.0	All Rel6.0i以前		
	瞬間復元ドライブ	Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまふ場合があります。	修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。	All Rel6.0i以前	クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください)	
	瞬間復元ドライブ	ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから至急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後も表示される場合があります。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0i以前	「\$scraps\$@&」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライブ	レジストリのバスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0i以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	画像を大量に貼り付けてあるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合があります。	特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。	All Rel6.0i以前	なし	
	クライアント機能	WindowsVistaにて瞬快クライアントをインストールした環境で、Windowsに異常が発生した場合、スタートアップ修復が自動的に動作し、ファイルやレジストリが消失する現象が発生する場合があります。	WindowsVistaにて瞬快クライアントをインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作しないように設定を変更しました。瞬快クライアントをアンインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作する設定になります。	All クライアントOSが WindowsVista Rel6.0i以前	なし	
	クライアント機能	修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスプナアイコンが青色になる場合があります。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0i以前	一度Windowsからログオフして、再度ログオンしてください	
	システムリカバリ機能	ScwAgent.exeでアプリケーションエラーが発生する、または0x93のSTOPエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel6.0i以前	なし	
	リモート画面操作機能	画面の解像度が高い(1280x800以上)クライアントPCに対して、リモート画面操作機能で接続を行うと、クライアントPC側で「Remote Display Service SessionStaが動作しなくなったため、閉じられました」とエラーメッセージが表示され、接続できなくなる場合があります。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0i以前	接続時にエラーメッセージが表示されなくなるまで、クライアントPCの画面の解像度を下げてください。	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフトなどのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらかった。	実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。	All Rel6.0i以前	なし	
6.0k	インストーラ共通	制限解除。	以下のOSをサポート対象OSに追加しました。 ・Windows Vista SP2	All Rel6.0j以前	Rel.6.0jではWindows Vista SP2での動作を確認しています。	
	その他	機能追加。	瞬快にてマルチブート設定をしたとき、クライアントPCに表示されるOS選択画面で、特定のOSを非表示にさせられる機能を追加しました。	All Rel6.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	Windowsのフォルダリダイレクト機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、フォルダリダイレクト機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	All クライアントOSが WindowsVista Rel6.0j以前	復元タイプをパーティション単位にして運用してください。	
	瞬間復元ドライブ	Windowsのオフラインファイル機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、オフラインファイル機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	All クライアントOSが WindowsVista Rel6.0j以前	復元タイプをパーティション単位にして運用してください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードで動作させている場合に、ジャパンメディアシステム株式会社のWeb会議システムLiveOnを使用すると、ActiveXコントロールのインストールに失敗してしまう。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0j以前	「C:\WINDOWS\Downloaded Program Files」を対象外にすることで回避できます。	
	瞬間復元ドライブ	ファイルシステムの異常を検知する機能において、異常ではない場合に異常と誤検知する場合があった。	プログラムを改修しました。	All Rel6.0j以前	なし	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、Internet Explorer6でファイルのダウンロードに失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、ファイルの作成と削除を数万回以上繰り返すと、次回OS再起動直後のディスクアクセスが多くなり、一定時間フリーズしたような状態になる場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、PCが突然フリーズする場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、0x0000007fのSTOPエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	WindowsUpdate連携	瞬快クライアントをインストールしたWindows Vista上でWindows Firewallのサービスのスタートアップの種類を「無効」にした状態で、Windows Update連携を行うと、Windows Update連携の処理が途中で失敗してしまふ。	プログラムを改修しました。	ALL クライアントOSが Windows Vista Rel6.0j以前	Windows Firewallのサービスのスタートアップの種類を「無効」以外にしてください。	
	Updateキャッチャー	Updateキャッチャーの画面が文字化けしてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	リモート画面操作機能	(株)高知システム開発社製のPC-TalkerがインストールされたWindows Vistaに瞬快クライアントをインストールし「点字キーモード」にすると、キーボードの操作ができなくなる場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL クライアントOSが Windows Vista Rel6.0j以前	瞬快クライアントをインストールする場合に、リモート画面操作クライアントの機能をインストールしないでください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能で、NETDOMコマンドを使用したドメイン参加を行う場合に、パスワードに「:」(コロロン)を使用すると、エラー(コード87のパラメータミス)になる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	複数のLANカードが搭載されているPCにシステムリカバリサーバをインストールして、イメージ取得や配信を行うと失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能でイメージ配信またはWindows環境の設定のサービスを実行した場合に、「異なるOSからのリクエストが発生されました」というエラーが発生し、処理が止まる場合があります。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	富士通製のFMV-D5370に対しイメージ配信を行った場合、配信途中で処理が停止し、ピープ音が鳴る場合があります。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0j以前	なし	
	その他	瞬快クライアントがインストールされたPCのファイルシステム異常を検知したときの動作を変更しました。	PCの強制シャットダウンなどが原因でファイルシステムの異常を検知した場合、これまでは警告メッセージを表示するとともに、タスクトレイのスパナアイコンを赤色にしていたが、警告メッセージの表示のみとしました。	ALL Rel6.0j以前	なし	
6.0m	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	ウイルスバスターコーポレートエディション10.0に対応しました。	ALL Rel6.0k以前	Rel.6.0kでも連携可能ですが、スマートスキャン方式のパターンファイルのバージョンが取得できません。	
	システムリカバリ	機能追加。	企業向けノートPC「FMV-LIFEBOOK」および、デスクトップPC「FMV-ESPRIMO」の2009年下期モデルに対応しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復対象外設定に同じ名前のファイル名とフォルダ名を指定すると修復対象外を誤認識する場合があります。 例: 以下のように同じ名前のファイルとフォルダを修復対象外に設定する場合。 C:\YDATA ←ファイルの対象外 C:\YDATA\ ←フォルダの対象外	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	復元タイプがファイル・フォルダ単位の修復モードで、Microsoft Office 2007 ProfessionalのInfoPathを使ってテンプレートファイルを開くと、「ファイルが開けません」の旨のメッセージが表示されテンプレートファイルが開けない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	復元タイプがファイル・フォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x00000050 0x0000008e	現象を回避するログをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel6.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows同士のマルチブート環境を構築し、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールすると、瞬間復元が行われない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0k以前	なし	
	WindowsUpdate連携	DNSやWINS等の名前解決環境がなく、ブロードキャストにおいてのみ名前解決が可能で、かつクライアントの使用するIPアドレスが頻繁に変更されるようなネットワーク環境において、Windows Update連携を実施すると、クライアントPCの電源状態確認処理に失敗し正常に動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0k以前	DHCPのリース期間を長く設定してください。	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
6.0n	ウイルス対策ソフト連携	Windows Vista環境に、瞬快クライアントとSymantec Endpoint Protection 11.0 RU5の組み合わせの場合、ファイルのプロパティを表示しようとすると、STOPエラー0x0000007Fが発生する場合があります。	回避ロジックを組み込みました。	ALL Rel6.0n以前	ファイルのプロパティを表示したい場合は、一時的に更新モードもしくは修復無効モードにしてください。	Symantec Endpoint Protection 11.0 MR4以前では発生しません。
6.0p	瞬間復元ドライブ	Windows VistaのInternet ExplorerからEPSON社製のレーザープリンタに対し印刷を行うと、印刷ができない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	以下のいずれかを行うことで回避可能です。 ・C:\ProgramData\EPSON\Temp を対象外にする ・UACを無効にする ・Internet Explorerの保護モードを無効にする	
	瞬間復元ドライブ	インテル社のAtomプロセッサを搭載したPCに瞬快をパーティション単位の修復モードでインストールすると、OSの起動前に黒い画面で数十秒から1分程度待たされる現象が発生する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントを復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールすると、Cygwinが正常に動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントを復元タイプがファイルフォルダ、動作モードが修復モードでインストールすると、PCのシャットダウン時に0x7eのブルースクリーンが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントを復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールした場合、DisplayLink社のドライバを使用したUSBディスプレイアダプタが正常に動作しない場合があります。 【製品例】 ・IO-DATA製 USB-RGB/D2 ・パッファロー製 GX-DVI/U2	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードの状態のPCから、別のPCで共有されているフォルダ内のファイルが変名できない場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントをインストールしたPCをシャットダウンするタイミングで、RMNTCLS.VEXEがアプリケーションエラーを出す場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能でFMV-D5390のディスクイメージ取得/配信ができない。	FMV-D5390用のLANドライバを製品に組み込みました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0n以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリにて、ディスクイメージ配信を行う場合に、DNSを自動取得する設定で配信を行っても固定の設定となってしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0n以前	システムリカバリ管理機能で、ディスクイメージ配信をする対象PCのプロパティ画面を開きOKボタンを押せば発生しません。	
	Windows Update連携	Windows Update連携を実行するクライアントPCにおいて、Automatic UpdatesサービスまたはWindows Updatesサービスの起動に20秒以上の時間を要する環境の場合にエラーが発生し、Windows Update連携の処理が失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0n以前	なし	
6.0r	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、Symantec Endpoint Protectionがインストールされている環境において、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x00000050	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0p以前	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、OS起動時に次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x00000050	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0p以前	なし	
	システムリカバリ機能	管理機能からシステムリカバリサーバに接続する際の認証画面で入力可能なユーザ名、パスワードの文字数を次の通り拡張しました。 ・ユーザ名 :15文字 → 256文字 ・パスワード :14文字 → 128文字	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0p以前	なし	
	Windows Update連携	Windows Update Client のアップデートを伴う場合、パッチ適用フェーズに入ったところで、一つ目のパッチが適用される前に「強制キャンセル」指示を行うと、「更新プログラムを構成しています (1/3)」のメッセージ表示にてコンピュータの再起動を繰り返す場合があります。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0p以前	なし	
	Windows Update連携	スケジュール作成画面で表示されるWindows Update連携に関する注意事項が文字化けを起こす場合があります。	HTMLドキュメントを改修しました。	ALL Rel6.0p以前	マイクロソフト社のInternet Explorer用の累積的なセキュリティ更新プログラム(2010年12月公開)を適用しない。	
6.0s	システムリカバリ	機能追加	2011年度下期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel6.0r以前	なし	

瞬快Rel.6.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードにてインストールされたPCにおいて、次のブルースクリーンが発生する可能性がある。 0x0000000a	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0r以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードの状態において、プロファイルが初めて作成されるユーザでログオンし、Adobe Flash Catalyst CS5を起動しようとする、エラーが発生し起動に失敗する可能性がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0r以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 11.0でスキャンを行うとディスクの使用量が增大する可能性がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0r以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールされたPCで、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーメッセージが表示される可能性がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel6.0r以前	なし	